

珪素の力の原理が解って来た！

☆私がこれまで濃縮水溶性珪素「umo 命の源」に注目してお薦めして来たのは、主に下記の2つの理由からでした。

①劣化した血管の修復と強化

血管の劣化が万病の元と云われていますが、現代人に不足している水溶性珪素の補給で、血管の弾力性を取り戻して強靱にすることが期待出来ること。また動脈硬化を起こした場所を修復し、そこから出たゴミであるプラークを血管内で溶かしているようです。こうしたことで血流が蘇り結果的に自己免疫力の回復が期待出来ること。

②アンチエイジング(老化防止)

水溶性珪素が体内に十分供給されると、真皮層を構成するコラーゲン、ヒアルロン酸等をしっかり結びつけ弾力性ある肌を作る。また骨でもカルシウムとコラーゲンを結び付けて、骨密度を上げるとのこと。そして全身に発生する過剰な活性酸素を中和して、身体の酸化を防ぐ効果が期待できると云われています。



シリカ倶楽部主宰 池田志朗
1949年生まれ。血管年齢20歳
で病氣知らず

※これらのことは医療機関等の現場で、裏付けとなる実証例が積み重ねられており、日本珪素医科学学会にて報告されています。

☆こうして現場からの「効果がある」との実例を目の当たりにすると、私には次はこれらの背後にある原理に到達したい、そして確認して皆様にお伝えしなければと思うようになりました。

そんな中で、中島敏樹、澤本三十四の両氏の研究に、水と珪素についての原理と実証データがあることを知りました。(参照:シリカ倶楽部通信 No.1) (以下文責池田)

水溶性珪素が体内に入って何が起きているのでしょうか？

(1)水が私たちの肌に浸透していく原理はこうなのです。

- ①水の分子は集団をなしてユラユラ振動しています。混じりけのない純水は自然界にはありませんし、あつたとして触れるものから水溶性のミネラル等を奪い取りますので、極めて危険なのです。
- ②自然界では場所によって少し違ういろんなミネラル等が溶け込んでいます。その溶けた物質の性質と濃度によって、水の集団の集まり方や動き方はそれぞれ違いがあります。(硬水、軟水の異なる性質もこの違いによる)
- ③珪素が水の中に百万分の7程度の珪素が溶け込んだ状態(7PPM)の時に、水分子の集団は地球の鼓動と云われる7.8Hz(シューマン波)と共鳴して力強く微振動して細胞に入り易くなります。
- ④体内に入った珪素7PPM程度の水は細胞内の水と共鳴してあらゆる生命現象を活性化することが分かって来ました。(ルルドの水等の奇跡の水はこの珪素7PPMの水！)

(2)油分と容易に混ざり合い体内の油性ゴミを洗い流すのはこの原理でしょう。

- ①珪素7PPM 辺りの水を一定の周波数の上下振動と横方向の波動エネルギーを一定時間加えて改質加工して、その水の誘電率(水の集団内の水原子が外部環境にどのように反応するか)の値を油脂と同じ値にすることで、この水と油が混ざり合います。この技術が実用化され既に大企業で使われ始めています。
- ②そこまで厳密にせずとも、珪素7PPMに近い水を飲用することで、珪素が相手に応じて誘電率を変えて体内の油汚れが溶かして流すものと思われまます。誘電率が揃うと水と油は混ざるのです！

★お手軽に水溶性珪素を補給して若さと健康を手に入れられる「umo 命の源」をお送りします。
大瓶 500ml (5 か月分) : 20,000 円+消費税、小瓶 50ml 外出用/お試用 : 4,000 円+消費税
※頒布にご協力いただける倶楽部メンバーにはご購入額に応じて割引があります。

ご注文・お問い合わせはお気軽に下記へどうぞ

シリカ倶楽部事務局 info@silica-club.com Tel.090-1450-0801